

大宮で桜の通り抜け

上原 昇 (2組)

大阪造幣局の桜通り抜けは有名で、この時期、必ずニュースで採り上げられますが、埼玉にも造幣局の桜通り抜けがあるのをご存知でしょうか。

平成 28 (2016) 年 10 月に造幣局の東京支局がさいたま市大宮区に移転してさいたま支局がオープンしました。たまたま、筆者 (上原) の住んでいるマンションの隣になります。

さいたま支局でも大阪に倣って、桜の通り抜けを作って市民の憩いの場所としています。今年も 4 月 5 日から 18 日の期間、“桜のさんぽ道”として開放されました。

大阪の 142 種類 340 本に比べると、26 種類 107 本と規模は大分違いますが、約 10 年経ち、桜の木も大分育ってきました。天気の良い週末には、家族連れの見物客が次々に訪れて花見を楽しんでいます。八重桜を中心に植樹されているので、ソメイヨシノに比べて、開花時期が遅いのも特徴のようです。

この 2, 3 年、この時期になると、さいたま市近隣在住の同期が集まって、花見を兼ねたミニ同期会を開催しています。

今回も、4 月 16 日 (水) の昼どき、筆者と関賢治君 (2 組)、浅倉英樹君、成澤文和君 (4 組) の 4 名が集まりました。みんな、花より団子 (お酒) の面々ですが、好天のもとで通り抜けを楽しんだ後、さいたま新都心駅近くの居酒屋で暫しの懇親会となりました。

4 月 9、10 日と「蕨の会」で行った甲州散策の写真アルバムを見ながら、同期の消息あれこれなどを肴に、午後の一時を過ごしました。



左から上原、浅倉、成澤、関

(2025 年 4 月 16 日記)

以上